

2023年 認定NPO法人 日本BPW連合会 長崎宣言

日本BPW連合会は、2023年5月27日の長崎大会において「産学官民で達成するSDGs～DE&I (Diversity, Equity & Inclusion)の取り組みと真のジェンダー平等実現に向けて～」を共通テーマに4つの視点から議論を重ねた結果、以下の宣言を採択する。

【経済】 女性の経済的自立を実現するために、次の提言をする。

1. 同じ学歴・職種でも顕在している男女間賃金格差を是正する。
2. 女性活躍推進法による男女別賃金格差開示および開示布令改正による大企業の男女別賃金の開示制度は大変有意義な施策である。
今後、この数値を元に男女間格差の是正を図るとともに、さらに職業別格差の分析ができるようなデータベースの構築および多様なロールモデルの開示を求める。
3. 女性の経済的自立の障壁となっている第3号被保険者制度の撤廃を要求する。

【政治】 議会の多様性のために、次の提言をする。

1. クオータ制を市区町村議会選挙からはじめ、全国に広める。
2. 女性や若い世代が立候補しやすい選挙制度への改正を求める（供託金制度廃止、政党助成金の傾斜配分、複数投票券制度導入、小選挙区比例代表並立制廃止と女性を必ず比例区1位にするなど）。
3. 女性が政治に参画しやすくなるよう、候補者男女均等法の順守の徹底を求めるとともに少なくとも、選挙・議員活動における性別役割分担意識などの阻害要因の排除を求める。
4. 女性の参画状況を把握するため、男女別の候補者・当選者数の即時開示を求める。
5. 若い世代が選挙に関心を持つよう、幼少期からの主権者教育を進める。

【教育】 教育におけるジェンダー不平等の解消のために、次の提言をする。

1. 女性学生の理工系進学支援によって、STEAM分野やデジタルテクノロジー分野でのジェンダーギャップを払拭する。
2. アンコンシャス・バイアスの影響が出ないように幼児教育レベルから意識改革を図る。
3. 教育分野における意思決定の場に女性を増やす。
4. GGGI（教育分野）に高等教育のデータが反映されるよう、情報開示を求める。
5. STEAM、特にSTEM（理工系）分野におけるジェンダーバイアスを可視化する。
6. 女性学生がキャリア形成を見据えた教育機会を得られるよう、教育機関だけではなく産学官民連携による成果を求める。

【健康・人権】 困難な問題を抱える女性支援のために、次の提言をする。

1. 困難女性支援法が、真に女性が抱える交差性の問題*の解消に資するように現場・当事者の声に耳を傾け、国・自治体・民間が対等に協働して中長期的な実効性のある支援をする。
2. 困難女性支援法の円滑な施行において、都道府県に加えて、市区レベルにも基本計画策定を義務化し、安心安全で利便性の高い居住施設の整備、専門職の常勤化による安定した身分保障を図る。
3. 民間団体の運営費や人材育成のための活動費、民間団体がない地域には、立ち上げのための財政的支援を特に厚く配分することで支援体制を早急に整える。
4. 当事者の自己選択、自己決定、DVの予防教育の重要性に鑑み、施行にあたって男女共同参画担当部署が積極的に関わることを求める。
5. 多様な性のあり方を理解し、トランスジェンダー女性を排除することなく支援する。

*交差性の問題：ジェンダー、人種、民族、移民、性的指向、性自認、障害、階級などの差別に基づく不平等に根差したシステムが、交差的に作用することによって現れる複合的な差別を受けている状態を指す